

下関市で地域スポーツフェスタが開催されました！

9月26日（日）に下関市のセービング陸上競技場で、下関市連絡協議会主催の『スポーツカーニバル2021』が開催されました。このイベントは、2017年から継続して実施しており、今年で5回目となりました。コロナ禍ではありましたが、約180名の来場がありました。



イベントを実施するにあたり、事務局である下関市スポーツ振興課を中心に実行委員会で話し合いを重ね、今回も下関市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会・下関市レクリエーション協会・下関市障害者スポーツセンターが連携して実施することができました。



イベントの内容は、レノファ山ロスポーツクラブスクールコーチによるサッカースクール、モルックやミニトランポリンの体験、ラダーゲッターやフライングディスクなどのニュースポーツ体験、レク式体力チェックを行いました。

サッカー以外の種目では、いろいろと体験していただけるように、スタンプラリー形式を取り入れました。3種目体験で参加賞GETとなりますが、ほとんどの参加者は全種目体験していました。サッカースクールに参加した子どもたちもスクールが始まる前に体験し、とても盛り上がっていました。また、親子での参加が多く、子どもも大人も楽しんでいる様子を見ることができました。

これほどの種目数を実施できているのは、3団体が連携しているからです。日頃のクラブ活動においても、他クラブや他団体、企業や学校などと連携することで、場所、器具、人材、ノウハウなど、さまざまな資源の確保につながっていくのではないのでしょうか。



コロナ禍前では当たり前であった、イベントに多くの方が集まり楽しむという光景を久しぶりに見ることができ、とても嬉しい気持ちになりました。まだまだ感染症を気にしながらの日々は続きそうですが、1日でもはやく思いっきり身体を動かすことができる日が来ることを願うばかりです。

山口県生涯スポーツ推進センターだより
わくわく（輪く和く）通信

スポーツくら
0000 BIG

Vol.42
2021年
10月

令和3年度生涯スポーツ優良団体表彰(文部科学大臣表彰)

地域又は職場におけるスポーツの健全な普及及び発展に貢献し、地域におけるスポーツの振興に顕著な成果を上げたスポーツ団体として、『川中スポーツ振興会』の受賞が決定いたしました。

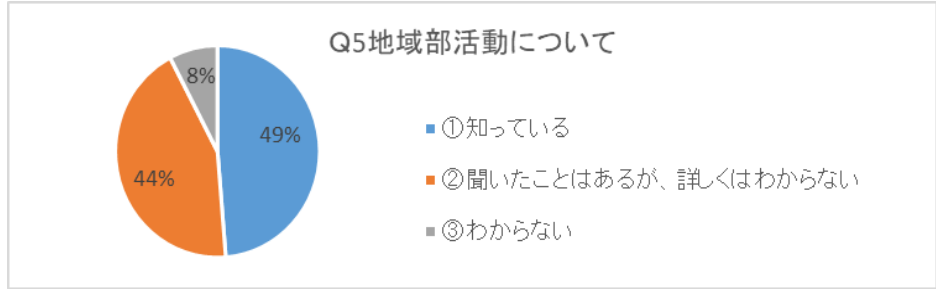
令和2年度山口県スポーツ功労賞

本県スポーツの振興に顕著な功績のあったスポーツ団体として、『俵山スポーツクラブ』と『コミュニティスポーツ城南』が、村岡知事から表彰されました。

地域部活動とは

(公財)山口県体育協会では、日本スポーツ協会からの委託を受けて、令和3年度地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業(新しい生活様式における地域のスポーツ環境の基盤強化)に取り組むために、広域スポーツセンターの企画運営委員のみなさまを中心メンバーとして、「地域スポーツ推進連絡協議会」を9月に開催したところです。この会で協議したアンケートを各クラブに配付し、クラブからの意見を吸い上げているところです。たくさんのクラブにご協力をいただき、活動状況や地域部活動などについて、貴重なご意見を寄せていただきました。

地域部活動とは、「学校と地域が協働・融合して部活動を行うこと」、特に、「休日に、地域の団体が運営主体となって、部活動の指導を行う取組のこと」です。この地域部活動について、



て、上のグラフのように、約半数のクラブで、「知っている」と答えられたにとどまりました。イメージがわからないといった意見に象徴されているように、様々な問題点や課題があり、パターン化できない状態です。この改革は、令和5年度からスタートし、休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境を構築していくことになります。

第1回の委員会では、委員の皆さまから、「特に総合型地域スポーツクラブというのがこういった部活動に焦点が当てられてきているが、地域の全体に関わっていきたいから総合型をやっているのであって、本来ではない」「地域スポーツクラブにも、それに対応できるだけのものがあるのか、そこを今後、県として、地域として、どういう指導者を指定していくのかというのが一つの課題になってくる」「総合型の役割は、中学校と地域と全体をつなぐことだと思っているので、総合型だけが受け持ってしまうことがないように」「地域によっては総合型がない所もあるし、学校が考えられた範囲で考えないと仕方ない問題になってくると思う」など、様々な意見が飛び交いました。

地域部活動に協力できた場合、あなたのクラブにとってどのようなメリットがあると思いますか？(複数回答可)

質問項目	回答割合
地域の連携強化及び活性化	70%
学校との連携強化	58%
会員数の増加	43%
指導者の増加	30%
学校施設の利用増加	28%
会費収入の増額	23%
その他	10%

この地域部活動については、教育委員会が主体となって取り組んでいるところですが、総合型地域スポーツクラブの立場から、アンケートの結果をまとめ、委員の意見をまとめた事例集として年度末に発行予定です。

主な研修会などのご案内

山口県女性とスポーツの会研修会

「スポーツの絆 Woman 和ークル」

○11/13(土) 下関武道館

講師：梅光学院大学特任教授 難波克己氏

スポーツリーダー養成講習会

○12/11(土)・12(日) カリエンテ山口

スポーツフェスタのご案内

厚狭地域スポーツフェスタ(トークショー・コンサート・パドルテニス)

○10/30(土) 不二輸送機ホール(山陽小野田市)

総合型スポーツフェスタ2021(萩・長門・阿武)(グラウンド・ゴルフ)

○10/31(日) 陶芸の村公園(萩市)

岩国地域スポーツフェスタ(ミニテニス)

○11/14(日) 美川体育館

柳井地域スポーツフェスタ(リズムジャンプ)

○11/21(日) TAIKO スポーツセンター田布施



人がつながる 人でつながる 人がつくる

地域に根ざしたクラブの経営や活動を支えるのは人…このコーナーでは、コンシェルジュがインタビューをして、総合型地域スポーツクラブにかかわる人を紹介していきます。

川中スポーツ振興会 会長 森本 茂樹氏

平成19年4月に設立され、15年目を迎える川中スポーツ振興会は、スポーツを通じて、親子や地域がふれあう明るく豊かな町づくりを目指し活動されています。今回は、会長の森本茂樹さんにお話を伺いました。

川中ってどんな地区ですか？

自治会の活動がとても盛んで、横のつながりもしっかりしています。

地区の運動会や祭りなど地域の住民と一体となってイベントを行っており、多くの地区民が参加されます。平成20年から実施しているラジオ体操は、夏休みに、早起きした子どもたちも参加して一緒に行っています。また、小中学校とも連携しており、川中のまちを巡るウォーキングなどを実施しています。

コロナ禍での活動はどうか？

ドッジボール、グラウンド・ゴルフ、スポ少ミニバスなどのそれぞれの活動はできる範囲で行っています。しかし、イベントはすべて中止となっており、そろそろ何か計画をしたいと思っているところですが、実施してもいいものかどうか…。9月末に市の連絡協議会で実施したスポーツカーニバルのようなイベントを川中地区でやってみたいという思いがあります。また、モルックの用具を購入したので、これから川中地区でも取り入れていければと考えています。

地域のみなさんへの思いはありますか？

多くの方にスポーツをしてほしいと思っています。イベントを待ち望んでいる方もおられると思いますので、その思いを実現できるようにしていきたいですね。

この度、生涯スポーツ優良団体として受賞された川中スポーツ振興会。これからはなくてはならない団体として川中地区を盛り上げていくことでしょう。



おばやまエンジョイクラブ 副会長 福江 玲子氏

2年前、宇部市で発足したおばやまエンジョイクラブの副会長の福江玲子さんにお話を伺いました。この日は、スポーツ推進連絡協議会女性委員会主催のACPやモルックの講習会に参加されていました。

スポーツ推進委員として、いつごろからかわられていますか？

スポーツ推進委員としては22年目になります。それより前は、地域のスポーツ行事によく参加させていただいていたので、気が付けば体育振興会の副会長になっていました。昔は、地域スポーツがさかんで、小羽山地区の代表を決めるのも一日がかりでした。子育て中の人に参加できていたのは、周りの人に子どものお世話をさせていただいたからなんです。今は、社会の変化なのでしょうか、このような光景はごくまれになりました。

おばやまエンジョイクラブのこれからをどのように支えていけますか？

クラブの会員数が少ないのが大きな課題です。体育振興会の内部組織として、子どもたちの運動習慣を定着させようと、ACPなどを取り入れた活動をしています。コロナ禍の中、地区の行事も思うようにならない中ですが、小羽山地区に限らず、少し広域にすることで、子どもに運動経験をさせたいと思っている保護者の皆さんのニーズに応えられたらと思っています。

私自身、小さいころから運動が大好きで、ゴム跳びや陣取り、鉄棒遊びなどを夢中になってやっていました。このクラブで、子育て中の保護者の方のストレス発散、そして、家庭円満のツールを提供できればとも考えています。

今日の研修会はいかがでしたか？

参加対象によって、プログラムを組み立てたり、アレンジをしたりすることを改めて学びました。おばやまエンジョイクラブでも活用できそうです。飽きさせない工夫ができるように、まずは自分自身が楽しく体を動かしていきたいなと思いました。

福江さんは、福山雅治さんと嵐の大ファン。コンサートに行くと、声を張り上げ、全身で飛び上がるのが大好きだそうです。これも運動の一つなんですと、相葉ロスの中、笑顔でインタビューをうけてくださいました。



*写真撮影時のみ、マスクを外しています。

総合型地域スポーツクラブ 訪問日記

クラブ名	イベント名	訪問日	訪問者
白鳥健康教室	ロビーコンサート	10月12日(火)	和田 康夫

白鳥健康教室主宰のイベント「ロビーコンサート」が、コロナ禍で開催されました。平成30年に設立して4年目を迎え、このコンサートは3年目となりました。スポーツ指導者等派遣事業を活用して、たくさんのチラシを配付し、この時期を体験期間として位置付け、定着してきたところです。約1か月の体験教室は13もあり、口コミでも広がり、年々参加者が増えているとのこと。この日も参加者は75人。その内、35人が地域住民の人で、コロナ禍の中でしたが、予想以上の参加者となりました。



中川会長さんから、「スポーツばかりではなく、文化活動が多いのも、このクラブの特徴です。こうしたイベントが浸透してきていることを実感しています。」との思いを伺うことができました。

今回の企画は、コーラス部の指導者によるもので、クラシックから童謡、テレビの主題歌などがピアノで次々に演奏されていました。しかも、3人が次々に代わって連弾していく場面では、人と鍵盤のすばやい入れ替わりに参加者が目でも楽しんでいました。このほか、コマーシャルイントロクイズがあったり、参加者で合唱する時間があったり、満足のいく時間を過ごせたようです。

配られたプログラムには、宇部市との連携した活動の主旨「週1回以上のスポーツ実施率80%を！」が紹介してあると同時に、会員の募集もしっかりと行われていました。月末には、チャレンジデーがあり、今年是对戦型ではないものの、一人15分以上運動をしましょうという呼びかけもありました。白鳥健康教室が、宇部市スポーツコミッションと連携し、サポートできるクラブでありたいとの思いが会長さんや運営スタッフのみなさんから感じ取れたイベントでした。

クラブ名	イベント名	訪問日	訪問者
ミネルバ宇部	キッズ運動広場①	10月23日(土)	和田 康夫

山口県体育協会は、スポーツ庁の国庫補助事業として、「子供の遊び定着のための官民連携推進事業」の委託を受け、宇部市にある女子フットサルチーム「ミネルバ宇部」と連携して、「キッズ運動広場」を開催しました。会場のコロシアムには、50人近い子どもたちとその保護者が集まり、まずは ACP で体も心もほぐしました。後半は、ミネルバ宇部の選手が中心となり「体を動かすことが好きになる運動遊び教室」を次々に展開していました。



この事業の大きなねらいは、コロナ禍の中、日常的に運動を行う場をもたない子どもたちが、体を動かすことの楽しさを味わうとともに、保護者とも一緒になって、子どもの運動を支援していくきっかけづくりとすることです。この教室は、今後2回行うこととしており、勝敗にとらわれないスポーツの楽しさや現役の選手と一緒にボールを追いかけられるおもしろさをたくさん提供していける好印象のスタートとなりました。参加した子どもたちは、思い切り走ることができて、大満足の時間となりました。多くの保護者からも次回が楽しみだという感想を聞くことができました。



県内の ACP 講師に加え、宇部フロンティア大学の6人の学生がスタッフとして加わり、細やかな配慮や声かけがあったことも印象的でした。

【生涯スポーツ推進センター問い合わせ先】

中央生涯スポーツ推進センター(山口県体育協会)
TEL 083-933-4697 FAX 083-933-4699



クラブアドバイザーは、スポーツ振興くじ (toto) 助成を受けて活動しています。